NIE実践報告

1．タイトル：みんなに伝えます！～私が読んだ新聞記事～

2．学校名

新潟県新潟市立上所小学校

3．実践者名（代表者名）

新田見　誠

4．学年

４学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科　35人

6．単元（本時の学習課題）名

みんなに伝えます！～私が読んだ新聞記事～

7．目標(狙い)

新聞を読み，話の中心となる「分かったこと」「思ったこと」を聞いている人に話すことができる。

8．評価の視点

新聞記事を紹介するために，「分かったこと」「思ったこと」の二つの内容をどちらも入れて，ワークシートに書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

みんなに伝えます！～私が読んだ新聞記事～［国語：５時間］

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「背中を押され　大舞台へ」（朝日新聞）を読み，内容を理解する。（１時間）
②「話の中心」を意識して，記事の紹介を書いたり話したりする。（１時間）
③「山の下小学校，商店街で運動会」（新潟日報）を読み，記事の紹介を話して伝える。（１時間）
④　他の学級の友だちに，自分が選んだ新聞記事を紹介する。（２時間）

（留意点）
・新聞記事を紹介する相手を，「新聞記事を読んだことがない全校の人」として相手意識をもたせる。
・新聞記事の紹介文を友だちと交流させ，相手に伝わる内容かを考えさせる。
・子どもが選んだ新聞記事を紹介する際，「できるようになったこと」を感じられるよう，学習カード（チェックカード）を用意する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「分かったこと」「思ったこと」の二つを入れて，選んだ新聞記事の紹介ができるようになった。また，紹介する内容を考えることが，短い時間でできるようになった。

12．成果と課題

・「背中を押され　大舞台へ」の新聞記事は，子どもの心を揺さぶるような感動的な内容だった。そのため，子どもは「思ったこと」を書きやすい教材だった。
・小学校４年生の子どもに新聞を教材として扱うとき，内容や文字数などに留意することが必要だと感じた。子どもの実態と学習内容に合った新聞を選択できるようにしていきたい。